

慈愛の種を播きましょう
SOW THE SEEDS OF LOVE

IBARAKI ROTARY

Club Weekly Bulletin

RI第2660地区 茨木ロータリークラブ 創立 昭和34年(1959年)12月23日



事務局 大塚府茨木市上中栄一丁目9-20 茨木商工会議所 TEL.(0726) 22-2255 〒567-0881
 例会 毎水曜日12時30分 いばらき京都ホテル 茨木市中穂積一丁目1-10 TEL.(0726) 20-2121
 会長/藤井 實 幹事/中西 勝 会報委員長/秋山 勲
 委員/山本、日野岡、森下、今村



姉妹クラブ:台北西北区扶輪社
 友好クラブ:インドネシア・チネレRC

No.15 平成14年10月23日

本日の卓話
 10月23日(水)
 「ハムとロータリー」
 野口健一 会員

例会記録

第2118 回例会 10月16日(水)晴
 ロータリーソング「町に灯を」斉唱
 ビジターご紹介
 西尾 武君(亀岡RC)

会長の時間

藤井 實会長

昨日は、北朝鮮にて24年前に拉致された内の5人の人達が日本に一時的に帰国し、各々の家族や関係者が喜びでの出迎えや種々の状況が一日中日本国民の関心を高め、人々を釘付けにした一日でありました。

これら一連の出来事により、従来の日本が対外的に如何に保安面、安全面において不十分な対応をしていたかが大きな反省と問題点にもなっております。

現在世界各地でのテロ恐威が増加する中で、これら国民の拉致問題だけでなく、原子力や主要産業施設の自衛力の強化が一段と必要な時代となっていることを重視する必要があります。又、我々茨木RCとしても来月には台北西北RCへの訪問予定となっておりますので、国際奉仕委員の方々には、是非共親睦会場等、バリ島のようなことがなきように、安全第一の点検をよろしくお願い申し上げます。

出席報告

第2118 回例会			前々回(第2116 回)		
会員数(免除)	出席	欠席	出席率	欠席	補正出席率
40(14)	23	2	92%	1	96.2%

しかし、昨日も5人の帰国者を出迎えた各地での人々の表情や感想などでは、日本の国は良い国だと再度感銘しました。日本人の同胞として24年振りに帰国し、再会を喜ぶ人達と共にその喜びを共に出来る国民性。又、不運にも拉致され、死亡が伝えられる家族の方々に対する同情の気持ちを多くの人達が持合わせる日本人の心。これら日本人としての思いやり、やさしい心を相手や友人、皆さんと共に喜びや悲しみを共に出来る人間関係。これら日本人の持つ心の古里が最近段々とうすれつつある中、このようなことから、我々茨木ロータリアンは各々の活動や仕事を通じて、これら日本国民の持つ心の古里を強く継承していかなければならないこととあります。

幹事報告

中西 勝幹事

1、例会変更(北摂11RCの例会変更)

高槻東RC: 11/1(金) 場所を桃谷楼に変更
 12/20(金) 高槻京都ホテル、忘年家族会の為
 12/27(金)、2/14(金) 休会
 1/10(金)は1/9(木)に変更 3RC合同例会の
 為 ビジター受付あり

2、RI及び2660地区連絡事項

- 第2回地区クラブ奉仕部門3委員会合同セミナーの案内
 12/7(土)9:30 開会 於: 薬業年金会館
- 地区GSE委員会受入実行委員長・副委員長会議の案内 11/16(土)14:00~16:00
 於: ガバナー事務所
- 青少年交換プログラム派遣学生追加募集の案内
 交換相手国: チェコ、ポーランド、ハンガリー、インド
 期間: 2003年8月出発、5~6名募集
 応募締切: 2002年11月15日 (詳細配布)
- 2001~2002年度GSC報告書

3、茨木市、他RCよりの依頼事項

1) 市・ミネアポリス市姉妹都市委員会の案内
10/24(木) 於：市役所南館

米山記念奨学会寄付報告

秋山、河原崎、水田、中西、野田各会員より頂きました
本日までの累計 320,000円

卓 話

掛谷建郎会員

「日米の企業不祥事」

日本では最近、東京電力や三井物産、日本ハム、雪印食品などの不祥事が相次いでいますが、米国でも昨年来、企業の不祥事が経済社会を揺さぶっています。エネルギー取引最大手のエンロンや通信の世界ドコモの破綻が代表的な例です。

エンロンもワールドコムも決算を粉飾しており、会計や監査法人のあり方まで問題になりました。エンロンを監査していた世界的な会計事務所アーサーアンダーセンは解体され、米議会は不正をした経営者に厳罰を科す「企業改革法」を可決しました。

こうした不祥事の背景には「高株価」の追求があるようです。ワールドコムは70以上の会社を買収し急成長しましたが、自社の株価が高ければ株式交換による買収が有利になります。役員などへの報酬でストックオプションを多用することも高株価追求の一因でしょう。

日本ではバブル崩壊後、様々な不祥事が出てきました。証券・金融関係では損失補填や不良債権関係（特別背任、粉飾決算、違法配当）総会屋への利益供与、過剰接待（贈収賄）など。損失補填は発覚当時犯罪ではありませんでしたが、株主代表訴訟で訴えられました。

中には過剰接待のように社会のルールが変わり、突然犯罪になったものもあります。総会屋への利益供与は昭和50年代半ばの商法改正前は堂々に行われていましたし、その後も逮捕は総務担当者どまりだったのが、野村證券では社長まで逮捕されました。

ルールの変化とともに、最近の不祥事で印象深いのが内部告発の増加です。東京電力の原子力発電所問題は点検した米GEの関係者が2年前に当局に告発したものですし、野村證券（総会屋）や三菱自動車工業（リコール隠し）も内部告発がきっかけでした。

内部告発の増加の背景には、企業と社員の関係の変化があると思います。かつて航空機疑惑の際、日商岩井の担当役員が「会社は永遠に不滅」との遺書を残して

自殺しましたが、こうした忠誠心のようなものは、現在ではほとんど見られなくなりました。

米国では通報者に報奨金を出したり減刑したりする制度がありますが、日本でも公正取引委員会が課徴金を軽減する制度の導入を検討し始めました。NECが社員の通報システムを設けるなど、不正の摘発・抑止のため内部告発を活用する動きも出始めました。

最近の不祥事を見ていると、日本の企業は社会ルールの変化や内部告発の増加（企業と社員の関係の変化）といった動きに鈍感であるような気がします。ディスクロージャーや社内のコンプライアンス（法令などルールの遵守）の体制も米国に比べ相当遅れています。

不祥事を起こさないようにするには、企業経営者はまず世の中の変化に対してもっと感度を高めること。そのうえで、自社を守るためのリスクマネジメントとして、ディスクロージャーやコンプライアンス、社内の風通しにもっと気を配る必要があると思います。

ニコニコ箱

ホームクラブ皆出席 簡、掛谷、森下
会長より関西カントリーのコマーシャルをしていただきありがとうございます 西尾(亀岡RC)
前回欠席 森下
早退でご免なさい 谷川
木本先生 先日はお世話になり有難うございました 山田

ガバナー公式訪問の写真をいただいて
秋山、藤井、掛谷、簡、河原崎、小池、久保、松尾
長澤、中江、中村、中西、野田、大木、大森、谷川
山田、山口、吉江
赤い羽根募金 ¥3,500

本日計 40,500円

累計 705,500円

次回卓話

「国際奉仕フォーラム」

久保義誓委員長